伊予銀行地域文化活動助成制度

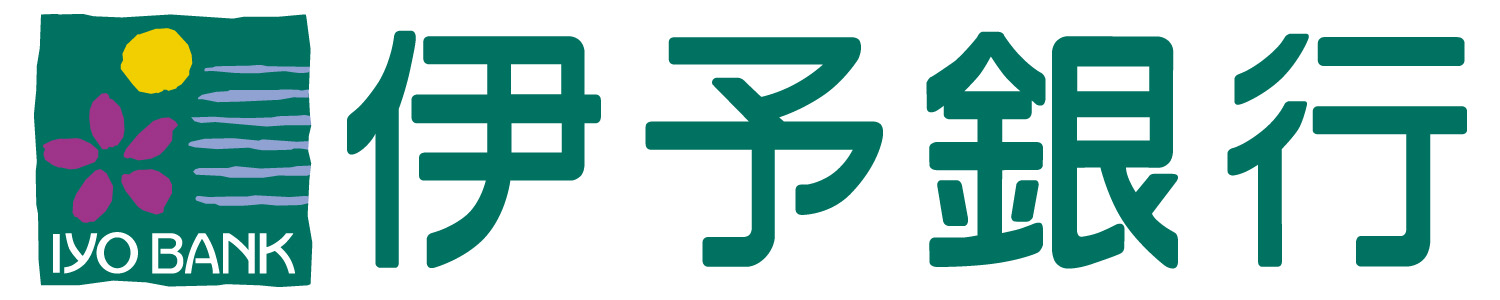
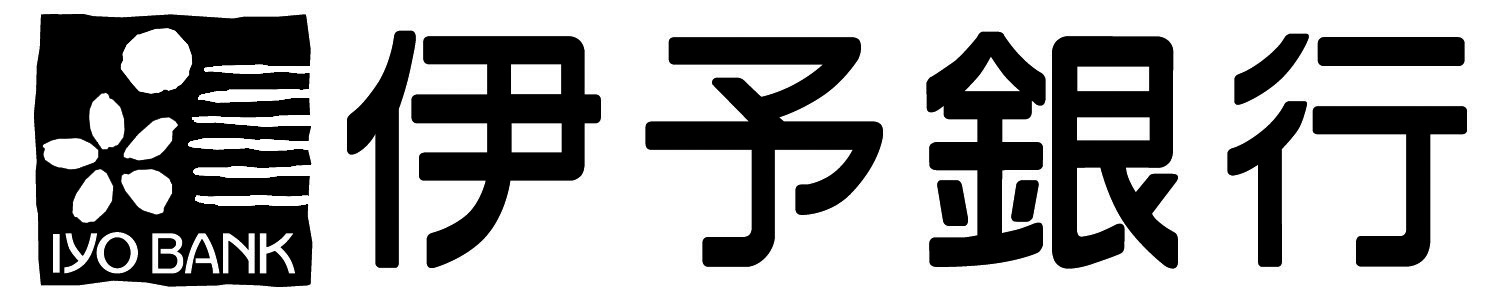
助成応募要領

～地域の文化活動をお手伝い～

伊予銀行は、社会貢献で

潤いと活力ある地域の明日を創ります

**2023年12月**



**伊予銀行地域文化活動助成制度のご案内**

* **趣　旨**

本制度は、地域文化の発展と向上にお役に立ちたいとの願いから、愛媛県内で歴史的重要

性や伝統性等に優れた｢草の根｣の文化活動を行っている団体・グループに対して、その活動資金の一部を助成させていただく制度です。

* **応募方法**

後掲の｢地域文化活動助成申請書｣にご記入の上、最寄りの伊予銀行の窓口にお申込みください。なお、応募にあたっては、お取引の有無は一切関係ありません。

* **応募期間とスケジュール**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 募 集 期 間 | 12月～1月下旬 | 6月～7月下旬 |
| 助成金贈呈時期 | 4月～5月頃 | 10月～11月頃 |

年2回の募集を行っています。

助成決定までの審査期間として、募集締切から3ヶ月程度のお時間をいただきます。

|  |  |
| --- | --- |
| ①申請書類提出 | 最寄りの伊予銀行の支店窓口へご提出ください。 |
| ②書類審査 | 支店長推薦を経て担当部で書類審査いたします。この時点で要件に満たない場合は、お断りすることもあります。ご了承ください。 |
| ③面談・ヒアリング | 活動内容に関して詳細をヒアリングさせていただきます。 |
| ④文化振興顧問団会議 | 県内有識者により、活動内容についての検討・審査を行います。 |
| ⑤助成決定 | 助成金額は、活動内容や実績、助成事例等により決定されます。 |
| ⑥選考通知 | 選考結果は、各推薦店を通じてお知らせします。 |
| ⑦助成金贈呈 | 贈呈式は、松山市内の会場で行います。 |
| ⑧活動報告書の提出 | 助成活動完了後、報告書をご提出いただきます。 |

* **「伊予銀行文化振興顧問団委員」のメンバーについて**

|  |  |
| --- | --- |
| 氏　　　名 | 現　　　　　　　職 |
| 竹田　美喜　氏 | 松山市立子規記念博物館 総館長 |
| 森　　正康　氏 | 愛媛県文化財保護審議会 会長（松山東雲短期大学名誉教授） |
| 大本　敬久　氏 | 愛媛県歴史文化博物館 専門学芸員 |
| 胡　 光 氏 | 愛媛大学法文学部 教授 |
| 山中　美幸　氏 | 愛媛県職員 |

愛媛県内の有識者からなる｢伊予銀行文化振興顧問団｣を編成し、当行の文化助成事業全般にわたってご助言・ご提言を頂いております。

◆ **助成要件**

１．愛媛県内で活動する団体・グループで、原則として１０年以上**※**の活動実績を持つこと。

**(過去に助成を受けた団体も、その後１０年経過すれば再申請が可能です。)**

※ 活動10年未満でも、時限性のある活動 (中断している伝統行事の再興や、高齢者からの昔話・伝承の採取記録など)の場合は、制度対象となる場合があります。

２．地域に密着した住民参加型「草の根」の文化活動を伝承していること｡

３．次の事項に該当しないこと。

（１）個人的趣味・稽古事の延長である。

（２）営利を目的としている。

（３）行政またはそれに類似する団体等が主体となって進める事業。

（４）特定の宗教・思想・政治団体等との関連がある。

（５）反社会的勢力との関連がある。

（６）ボランティア・福祉的色彩が強い。

※次頁の「申請要件チェックリスト」もご参照ください。

* **助成金使途**

活動に関する道具類の購入や発行物の費用、催物等の実施経費の一部とします。

なお、定例的に発生する通常の活動費や飲食費等は対象外です。

（注：助成金を助成対象事業以外に使用した場合は、助成金の全部または一部の返還を

求めることがあります｡）

* **具体的活動事例**

|  |  |
| --- | --- |
| 分　野 | 具体的活動事例 |
| 音楽 | コーラス・声楽・器楽・邦楽 等 |
| 美術 | 絵画・写真・彫刻 等 |
| 演劇 | 演劇・ミュージカル・人形劇 等 |
| 文芸 | 俳句・短歌・川柳・現代詩・文人顕彰 等 |
| 郷土芸能 | 獅子舞・鹿踊り・伝承踊り・文楽 ・神楽 等 |
| 創作芸能 | 創作太鼓・創作民謡・現代舞踊 等 |
| 郷土史 | 郷土史・民俗学・文化財の調査研究 等 |
| 国際交流 | 国際交流活動 等 |
| 生活文化 | 習俗伝承・創作事業・演劇招聘・児童育成(読み聞かせ等)　等 |
| 自然科学 | 動植物の調査・研究・保護活動 等 |

※上記は一例です。「地域性があるか」「草の根的な文化活動か」「後継者の状況」が、制度対象可否の判断基準の一つとなります。ごく少人数の趣味のサークルなど、活動内容によっては制度対象外となる場合もございますので、ご了承ください。 ご不明な場合は、お気軽に事務局までご相談ください。

※神社祭礼の神輿や山車・屋台は制度対象外です。(保存・継承状況により一部例外あり)

申請要件チェックリスト

本制度の趣旨に適っているかどうかのご判断について、下記チェックリストをご参照ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1 | 団体あるいはグループとして複数人数で活動している。 | YES・NO |
| 2 | １０年以上**※**、地域に根ざした文化活動を継続的に運営し、活発に活動している。 | YES・NO |
| 3 | 過去１０年間**※**、本制度による助成を受けたことがない。 | YES・NO |
| 4 | 趣味やお稽古事の延長ではなく、レクリエーションの範囲を超えた文化活動を行っている。 | YES・NO |
| 5 | ボランティアや福祉、地域おこしイベントに特化せず、文化的な性質を持った活動を行っている。 | YES・NO |
| 6 | 営利を目的とした活動や、個人的な利益に結びつく活動ではない。 | YES・NO |
| 7 | 特定の宗教や思想、政治団体との特別な結びつきはない。 | YES・NO |
| 8 | 構成員を含め、反社会的勢力に該当しない団体・グループである。 | YES・NO |
| 9 | 地公体が主催する事業の開催や、地公体が主体となった運営ではない。 | YES・NO |
| 10 | 連盟や協会等に属する場合、事務局的な活動ではなく、自主的･創造的に活動している。 | YES・NO |
| 11 | 年間の活動計画や収支が明確で、組織として構成されている。 | YES・NO |
| 12 | 活動を次代へ継承していくための方策（後継者対策等）を講じている。 | YES・NO |

※10年未満でも助成対象となる場合があります。前頁の「助成要件」をご覧ください。

※上記要件は、あくまでも目安の一部です。 ご不明な場合は、事務局か、お近くの伊予銀行へ

ご相談ください。なお、ご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

お申込みに必要な書類

１．地域文化活動助成 申請書　　全４枚

団体設立経緯や活動内容等、申請書に記載する内容を記した資料がある場合は、

それらのコピーを添付することで、記載の一部を省略することができます。

申請書(Word版・PDF版)は、当行ホームページからダウンロードも可能です。

２. 活動状況を撮影した写真　　５枚以上

可能であれば、電子記録媒体（CD･USB・SDカード等）でご提出ください。（後日返却いたします。）メールでの受付も可能です。

申請内容が道具類の新調・修繕の場合は、対象物の写真もあれば添付願います。

【地域文化活動助成制度 事務局】

〒790-8514　松山市南堀端町１番地　　伊予銀行　広報ＣＳＲ室

　　　　　　　　℡.(０８９) ９０７－１０１１

　　　　　　　　　　　　　　　　E-Mail 　iyo11n669wt@iyobank.co.jp

地域文化活動助成申請書

＜4-1＞

　　　　　　年　　　月　　　日

株式会社　伊予銀行　殿

　　下記の活動・催物等を実施するにあたり、貴行の助成を申請します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ふりがな  【団 体 名】 | | |
| 【代表者役職】 | ふりがな  【代表者氏名】 | |
| 【助成金使途】 | | |
| 【助成希望金額】　　　　　　　　　　　　　　　万 円 | |  |

**Ⅰ．団体の概要**

|  |
| --- |
| **１．連絡先（団体所在地 または 代表者連絡先）**  住所　　〒  (電話番号 :　　　　 ) (携帯番号 :　　 　　 　　　 　　　　 　)  (E-mailアドレス: ) |
| （本申請ご担当者が、上記と異なる場合）  住所　　〒  団体における役職名  (電話番号 :　　　　 ) (携帯番号 :　　 　　 　　　 　　　　 　)  (E-mailアドレス: ) |
| **2．会員数**　 男 性　　　名 / 女 性　　　 名 / 子 供　 　　名 / 合 計　　　　名  　　年齢構成　　　　　 　歳　～　　　歳位　（中心は　　 歳代 ） |
| **３．団体設立 または 活動開始時期** 　　　Ｍ ・ Ｔ ・ Ｓ ・ Ｈ　　　 年　　　 　月 |
| **４．団体SNS** (該当あれば〇) Facebook Instagram ホームページ 　その他 |
| **5．設立の経緯・活動目的**（なるべく詳しくご記入下さい。）  獅子舞等の伝統芸能分野の場合、発祥や起源などの由来・歴史的背景があればご記入下さい。  地域の言い伝え等でも結構です。市町村誌等の資料がある場合はコピーを添付して下さい。 |

**Ⅱ．普段の活動状況について（できるだけ具体的にご記入下さい。）**

＜4-2＞

|  |
| --- |
| **１．定例的な活動**（催しやイベント出演等、定例的な活動） |
| **２．過去の活動状況**（上記以外で、過去に実施した特別な事業や活動があれば） |
| **３．定期練習（会合）状況**  ① 期　間：　　　　月　　　日　から　　　月　　　日　まで　　もしくは　　通　年  ② 回　数：　月　・　週　　　　　回  ③ 場　所：  ④ 指導者：　職業または勤務先　　　　　　　　　　　 氏 名  ⑤ 練習・活動内容・参加率など |
| **4．活動の中で特長的な事柄や特色、アピールしておきたい点、今後の目標 等**  ※伝統芸能・創作芸能分野で、演目がある場合は、その名称・内容など  ※特長的・地域独自と思われる事柄、見せ場や自慢できる点、運営上の苦労、今後の目標など |
| **５．後継者対策（会員獲得）のため実施していること** |

＜4-3＞

**Ⅲ．助成を申請する活動・催物等について（できるだけ具体的にご記入下さい。）**

|  |
| --- |
| **１．申請する活動・催物の名称** |
| **２．助成金使途（助成金の使い道を簡潔にご記入ください。詳細は次頁に記載願います。）** |
| **３．実施時期（予定でも可）**  年　 　月　　 日（　　　）～　　　年　　 月　　 日（　　　） |
| **４．実施場所（会場や神社など開催場所があればその名称）** |
| **５．本年度活動収支計画（本申請事業を含んだ年間の収支予想をご記入下さい）**  　　　※収支計画をまとめた資料があれば添付して下さい。(上記記載は省略可)   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 収　　　　　入 | | 支　　　　　出 | | | 項　　　　目 | 金　　　額 | 項　　　　目 | 金　　　額 | | 会員年会費(＠　　 　　円) |  |  |  | |  |  |  |  | |  |  |  |  | |  |  |  |  | |  |  |  |  | |  |  |  |  | |  |  |  |  | |  |  |  |  | |  |  |  |  | |  |  |  |  | | 合　　計 (Ａ) |  | 合　　計 (Ｂ) |  |   不足額 ＝ （Ａ）－（Ｂ）＝ 　△　　　 　 円 |
| **６．助成希望金額**  万　円 |

＜4-4＞

|  |
| --- |
| **7．申請する活動・催物等について**  ※道具・衣装の新調（修繕）の場合は、対象物の現状や個数、新調（修繕）理由について。  ※各種演奏会や芸能発表会等の場合は、テーマ(コンセプト)・ステージ構成・曲目内容について。  ※各種記念誌発行の場合は、具体的な構成・内容・発行部数・配付予定先について。 |
| **８．本制度を何でお知りになられましたか？** |

以　上